『いのち輝く未来社会』を目指す ビジョン推進のための 『10歳若返り』 ワークショップ

がんこフードサービス株式会社 志賀 茂

1. 若返りのための"元気の源"

(1)お酢の効用

ある特別養護老人ホームへのボランティアの "寿司店(屋台)" 生きる力を生む "生理的メカニズム" と "認知メカニズム" 味を感じるのは "味蕾"、美味しさを感じるのは "感情"

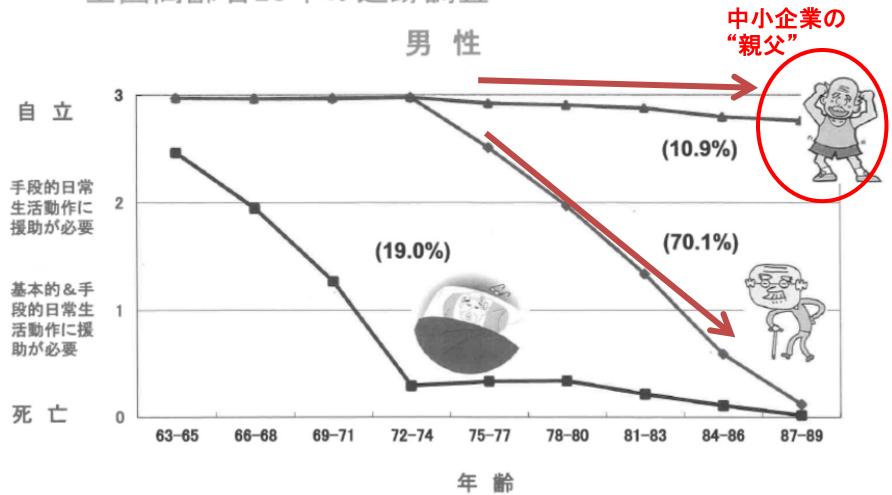


酢の酸っぱい味のもとは、酢酸やクエン酸をはじめとする多種類の有機酸。 酢とエネルギー源である糖質を一緒に摂取すると、スタミナアップや疲労回復に効果的です。"寿司"は疲労回復にもってこいといえます。

(2) 自立度の変化パターン ②







出所) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』岩波書店,2010

《自立度の高い人》



- ①役割・責任をもって仕事をしている人 ⇒典型的 中小企業の "親父"
- ②仕事をしている人
- ③ボランティアをしている人
- 4)趣味を持っている人
 - ⇒ 健康寿命が長い



《上記①の特徴》(食の現場目視より)

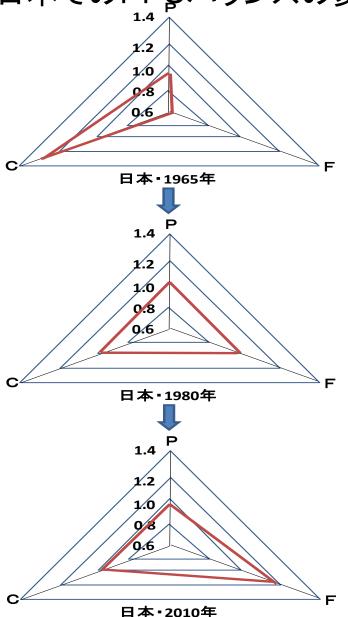
責任をもって、よく仕事をするから、脳が活性化

- よく食べ(食欲旺盛)
- よくしゃべり
- 感情豊か

2. 日本の伝統食 = 『和食』 ※1980年代の食事が理想 PFCバランスとは

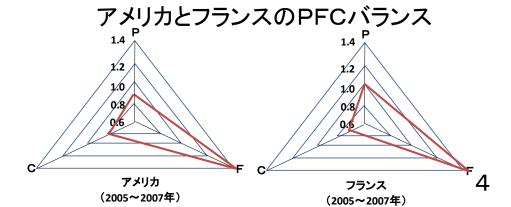
60%が理想的。

(1)日本でのPFCバランスの変化



タンパク質・脂質・炭水化物は、人間にとって 特に不可欠な『三大栄養素』。PFCのPは Protein(タンパク質)、FはFat(脂質)、Cは Carbohydrate(炭水化物)の頭文字で、PFC バランスとは食事の中での『タンパク質』、 『脂質』、『炭水化物』のそれぞれの摂取カロリー の比率。健康的な生活をおくるためにはPFC バランスがタンパク質15%、脂質25%、炭水化物

日本人のPFCバランスは、1965年当時は炭水化物 に偏っていたが、1980年は非常に理想的な配分に なっていた。しかし、その後の日本人の食生活に 肉や油脂類を多く摂り、主食の米を食べる量が減り、 2010年時は欧米型に近づきつつある。



(2)食を通じての健康』【※我社のメニューより】

『やわらぎ弁当生湯葉しゃぶ付』 1,780円(税別) 『ミニ懐石 華 はな扇』 2,980円(税別)



可食量:約630g カロリー:約600Kcal



可食量:約750g カロリー:約700Kcal

通常の健康な成人では、基礎代謝量にもよりますが、目安として1日当り1800カロリーが最低摂取カロリーだと言われておりますので、大変健康食のメニューだと言えます。

- (3)食を通じての健康
 - ①我社のコース料理には、全ての献立に取り入れている食材があります。それは、若返りに最も効果的なイソフラボン含有の豆乳濃度14%の"豆富"と"生湯葉"です。
 - ②また、抗酸化作用に適した食材を多用する事を心掛けています。 トマト、茄子、ピーマン、胡瓜、カボチャ、ホウレンソウ、 モロヘイヤ、ブロッコリー、ニンジン等から5種類以上
 - ③『食を通じての健康』 の秘訣は、日本料理の特徴でもある五法を基に五味、五感をくすぐり、"季節" を感じながら、楽しく食事をして頂くことが大切なのです。(唾液の効果)

(4)食を通じての健康

- ① 1日35種類程度の野菜、魚介、鶏、豚、牛の摂取が望ましい食事の原則は、一つ目に海藻類、二つ目は緑黄色野菜と大豆類(豆富、湯葉、豆乳、味噌汁、納豆類)に加えて、魚・肉を食べるのがベスト
- ②米食の効果 お米は脳に栄養を送る炭水化物 お米に多く含まれるでんぷんが体内でブドウ糖に変わり、その

ブドウ糖が、脳を働かせるエネルギーとなる

- ③ DHA不飽和脂肪酸の摂取で、認知症を防ぐドーパミン、うつ病を防ぐセロトニンが期待できる
- ④朝食の理想的な献立例 白ご飯1杯、梅干し1個、生卵1個、ワカメの味噌汁、 ホウレンソウの胡麻和え、納豆1パック、鰯の煮付け1尾、

3. 日本の和食が何故いいのか・・・

- (1) 和 食
 - ①野菜・魚 中心 素材の種類が多く、五味・五色・五法 栄養バランスが良い
 - ②発酵食品
 - ③出汁(だし) 味噌汁 など

- (2) 近年、気になること
 - かまない
 - 骨のある魚は食べない
 - 孤食

4. 提 案

『家族団らんの日』

《参考》 我社の"食育" 【お母さん向け"食育"事例】

本日の内容

- ①和の文化
- ② 和食の特徴
- ③ 外国の料理と日本の料理
- ④ 和食の食事に関する知識と作法



和食



『日本人の伝統的な食文化』として 認められたんだね♪

和食文化の歴史

和食文化を生んだ要素

四季がある

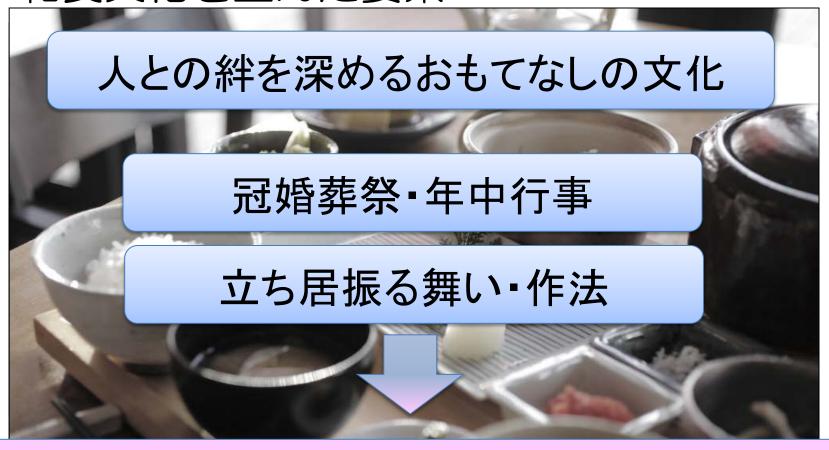






和食文化の歴史

和食文化を生んだ要素



おもてなし・感謝の気持ちを伝える食文化

和食の特徴①

和食

季節の食材

米・野菜・魚を中心とした食生活スタイル

理想的な 栄養バランス



海外からも注目の食事スタイル

和食の特徴②

膳の文化 (一汁三菜)

米を中心に 魚介、肉、豆、野菜を副 食とする捉え方

組み合わせ自由

お米を食べる為に工夫された食事

和食の特徴③

箸の文化

箸を使い お茶碗を手に持つ



和食の特徴4

食事マナー (挨拶)

「いただきます」

食事を作ってくれた 人・食材への感謝

「ご馳走さま」

大変な思いで食事を 準備してくれた人へ の感謝





外国の料理と日本の料理

日本料理

季節の食材そのものの味を生かす料理

魚介類を生で食べる為、 切る技術が著しく発展

料理は器に盛られた景色

「舌で味わう前に目で味わう料理」



外国の料理と日本の料理

文化の違いによる作法の違い



ナイフとフォーク

フランス料理(西洋料理)



箸のみ

日本料理



スプーンと箸

中国料理韓国料理

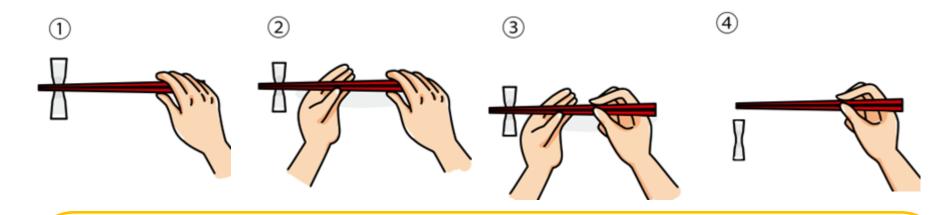


手

インド料理 など

和食の食事に関する知識と作法

箸の取り上げ方



- 1 箸は右手の親指、人差し指、中指で中央から少し右を上から取り上げる
- 2 左手を箸の下に軽く添える
- 3 右手を箸にそって右の方向に滑らせる
- 4 箸の中心より右の位置を下から持つ
- 5 左手を離す

和食の食事に関する知識と作法

日本の箸(タブー)

一緒に食事している人を不快にさせる所作









箸を持った手で 人を指すこと 食べ物から汁を 垂らしながら口 に運ぶこと 箸を料理の上 で動かして迷う *こ*と 器の底の方にあ る具材をほじり だすこと